

項目	委員意見
ビジョンの評価	<p>○この地域は日本経済の牽引役を果たすポテンシャルがあるため、「日本において断トツの愛知」ではなく、「世界の中で愛知の存在感を示す」でなければならない。</p> <p>○「輸出額の全国シェア」よりも、世界の中で本県企業が存在感を認められるために何が必要かということを考えるべき。</p> <p>○成果達成目標は行政の約束のようなもの。達成が難しい場合は、何が足りないのか、施策として何が足りないのかを、徹底的に議論、分析することで、次の計画の中で生きてくる。単に社会の情勢変化が要因であるということで済ませない方がよい。</p>
イノベーションの促進・生産性の向上	<p>○追補版で、横断的な施策として新たに「イノベーションの促進・生産性の向上」を設定したことは大変結構なこと。新しいものを作り出すという意味で「スタートアップ」を大きく位置付けたことについては大いに期待。</p> <p>○スタートアップ創出に関する取組は大変重要。県としてどういった特徴を出していくのかを考える中で、次世代モビリティに関するグローバルセンターを目指すといったビジョンを掲げ、関連するベンチャーやスタートアップについて、特に力を入れて育てていくことも一つの手。</p> <p>○イノベーションの促進について、愛知も世界で有数なイノベーションのエリアだという目標を作ってやってほしい。</p> <p>○「イノベーションの促進・生産性の向上」は、中小企業・小規模事業者にとっては取り組みにくい苦手な分野。一方で、中小企業・小規模事業者だからこそ、技術革新による生産力向上が必要であるため、中小企業・小規模事業者が活用できるような取組を。</p> <p>○IoTは現状分析だけならば安く導入できるが、意味のあるデータを取り出すためのソフト開発が必要であり、費用が問題。そもそも、IoTの定義づけをしなければ何も語れないことが課題。</p>
中小・小規模企業対策	<p>○中小企業において好景気を実感できていないということは、モノづくりの力が十分に生かされてないということであり、行政的なサポートが必要。</p> <p>○モノづくりにソフトウェア、サービスを付加しないと生き残れないという状況は、自動車産業に限ったことではないため、施策としてプラスアルファを。</p> <p>○中堅を除く中企業・小企業・零細企業の経営課題は、会社の規模や業種によって異なっているため、それぞれに対応した施策の策定は非常に難しい。</p> <p>○事業承継について、働き方改革や消費税増税の影響で年配の事業者が制度についていくことができず、一気に廃業が進む可能性。</p> <p>○大企業が働き方改革のために手間のかかる作業等を下請け企業に任せてしまうと、下請け企業である小規模事業者が働き方改革に対応できないのではないかと危惧。</p> <p>○キャッシュレス決済等の導入を進めるための IT 支援施策が必要。キャッシュレス化の一番の問題は、決済後の現金化が数日先になることであり、小規模事業者にとっては死活問題。</p>
人材育成・確保	<p>○IT 人材の育成は大学等でも進めているが、この地域に就職先が少なく、東京に出て行ってしまふことが多いため、IT 産業の育成、誘致にも引き続き注力を。</p> <p>○堅実な県民性や地域性を考えると、首都圏等で就職し一定期間スキルを身に付けた方がスピンアウトし、UIJ ターンで戻ってきて起業というケースの方が、成長分野の IT 関連などの業種で特に効果が期待できるのではないか。</p> <p>○20 代女性の首都圏への就業に伴う流出超過が大きな課題。現状、女性の受け皿が少ない産業構造も一因であり、企業誘致や産業育成に関して、若年女性の就業を意識すべき。</p> <p>○ワーク・ライフ・バランスが非常に良好であることや、首都圏に比べて物価が安いことなど、この地域の持つ様々な「売り」を、就職面接会等でアピールしていく必要。</p> <p>○外国人材の受け入れは、受け入れる側の語学力の向上や多文化理解が重要。同様のことが生活者として地域社会でも求められるため、県には地域に対する機運の醸成や周知を期待。</p> <p>○海外から高度人材の受入には、インターナショナルスクールの整備も必要。子女の教育や病院など、海外の方にも生活しやすい環境を作ることが必要。</p> <p>○近年、若者のモノづくり離れの流れの中で、若者が進んで技能者を目指せる環境を整え、高度な技術を有する技能者を育成していくことが喫緊の課題</p> <p>○働き方改革が待ったなしという状況である中で、人手不足の中でのさらなる生産性の向上が難しい状況にあるということも課題。</p>
地域の魅力・観光	<p>○観光は PR も大切だが、観光産業としてお金を落とすとしていただく仕組みや場所をもっと作っていくことが必要。</p> <p>○多くの旅行者がこの地域に来てお金を落とすことが地域の小売業やサービス業の活性化につながる。例えば体験型コンテンツやナイトタイムエコノミーといった取組の拡大を。</p>
その他	<p>○フィンテックは金融機関も非常に興味を持っているため、ビジョンの中にも盛り込むとともに、地元の金融機関との連携も含めて具体的な施策について検討を。</p> <p>○労働組合では、持続可能な開発目標である「SDGs」に取り組んでおり、ぜひ視点も取り入れてほしい。</p> <p>○奨学金を 2 人に 1 人が借りているという時代の中で、有利子で借りている学生が非常に多いといったことも課題。</p> <p>○人口減少や少子高齢化が進む中で、行政や商業住居職場などの都市機能を集約させた「コンパクトシティ」の取組がまちづくりには必要ではないか。</p>